

# えふあい通信

~2018/04/21~





## Contents

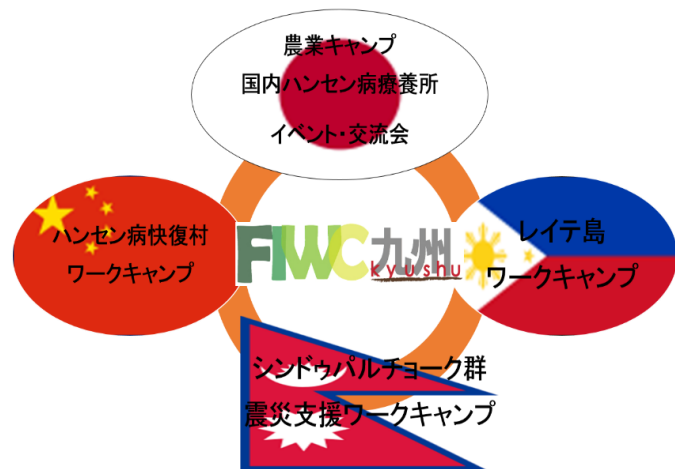
<b>FIWC 九州とは??</b> .....	<b>2</b>
<b>委員長挨拶</b> .....	<b>2</b>
<b>キャンプ紹介</b> .....	<b>3</b>
<b>国内イベント報告</b> .....	<b>7</b>
<b>役員&amp;キャンプリーダー他己紹介</b> .....	<b>8</b>



## FIWC 九州とは??

FIWC とは、フレンズ国際ワークキャンプ (Friends International Work Camp) の略称です。第二次世界大戦後復興のため、アメリカ・フレンズ奉仕団 (AFSC) がワークキャンプを日本で実施しました。そして、1950 年代に AFSC から独立し、FIWC が結成されました。私たちの FIWC の「Friends」はその精神を受け継ごうと意思から採用されました。それ以来 FIWC は、国内外でワークキャンプを 60 年以上実施している。現在その支部は全国に広がり、FIWC 関西委員会、関東委員会、東海委員会、九州委員会が活動しています。

私たち九州委員会は九州 (主に福岡) の大学生が主体となり、学生のみで運営・活動しており、国外ではフィリピン、中国、ネパール、国内では耶馬溪の農業キャンプや国立ハンセン病療養所などを中心に活動してきています。私たち FIWC は、一般市民・学生による任意の非政府組織 (NGO) であり、いかなる政治・宗教団体とも一切関係のない学生団体です。(文責 田中ゆう)



## 委員長挨拶(九州大学 4年 田中ゆう)

今年度、FIWC 九州の委員長を務めさせていただきます九州大学 4 年の田中ゆうです。私がこの団体に関わり始めてからのこの 3 年間、FIWC 九州はメンバーも増え活動範囲も広がり、大きく変わり続けています。FIWC の成長は、関わる 1 人 1 人の行動力や努力、また先輩方の積み上げてきたものなどの賜物だと思います。その中でこれからも進み続ける限り何度も大きな壁にぶつかることがあると思います。しかし、新役員メンバー含め FIWC 九州のみんなと協力しあいながら、これからも前進し、行動し続けたいと思います。

昨年度に引き続き、キャンプの安全面などしっかりするところはしっかり、楽しむところは全力で笑って、新しいことにも挑戦しながら、みんなが大好きな空間をみんなで作っていきます。そして私もこの環境に感謝しながら、委員長として、この 1 年間精一杯楽しみたいと思います! 拙いこともあるとは思いますが、これからも温かく見守っていただければ幸いです。1 年間、新役員をどうぞよろしくお願いいたします!!



## キャンプ紹介① チャイナキャンプ

### ○概要

期間 2018年2月22日～2018年3月7日

場所 中華人民共和国広東省

参加人数 5名（家 JIA の学生参加人数 17名）

### ○キャンプテーマ

【Re ;           】

今回はキャンパー全員が二回目のチャイナキャンプへの参加で、「村人に再会したい」「もっとチャイナキャンプを深めたい」などといった 再～ や もっと～ というキャンプへのそれぞれの目標や目的を持っており Re ; のあとにはそれぞれの思いを入れようということでこのテーマに決定しました。

### ○キャンプ内容

ワーク：村全体の掃除、村人のごみ問題や生活環境に対する意識改革。排水溝づくり。

ハウスワーク：ランタン作り。

ホームビジット：ハンセン病快復者である村人たちに、彼らの経験談を聴くなど、村人のところを訪ねて交流する。

イベント：中国の旧正月を祝うティーパーティー。夕食会。

### ○総括

今回は日本人キャンパーが全員二回目のチャイナキャンプで、今回ワークキャンプを行った儒洞村は5人中4人が去年の夏にキャンプを行った村でした。村人たちは前回よりも私たちに心を開いてくれていて、私たちは村人たちとより深い関係をむすぶことができた実感しています。だからこそ、楽しいこともたくさんあったが考えさせられること、感じることも、それぞれ多くあったと思います。また今回、私たちは JIA のキャンパーたちにも、キャンプを進めていくなかでより貢献できたのではないかと思います。中国人キャンパー、日本人キャンパー互いに自分の意見や考えをシェアしながら、キャンプを一緒につくっていくことができました。（文責 平井侑貴）



## キャンプ紹介② ネパールキャンプ

### ○概要

ネパールキャンプはこれまで FIWC 関東で行われていました。昨年度は野中くるみがリーダーとなり関東と合同でキャンプを行い、今年度からは九州と関東がそれぞれ単独でキャンプを行っています。

期間：2018年2月28日～3月29日

場所：ネパール連邦民主共和国 Sindhupalchok 郡 Ghumang Maneswara 8 村

メンバー：15名（九州大学、西南学院大学）

### ○ワークについて

今回のネパールキャンプのワークは Community House の屋根の建設です。2015年の震災の影響によって、村唯一の公共施設である公民館が倒壊しました。その屋根を再建することで、結婚式やお葬式など村人の集まることができる場所ができました。また、次の震災に備え JICA が定めた基準をもとに作成された設計図をもとに建設をすすめていきました。Village Development Office という地方政府の出先機関から、FIWC 九州が建築基準を満たした屋根を建設したという証明書をいただきました。



### ○震災の復興状況

ネパールでは震災で倒壊した家の復興が急ピッチで進んでいます。JICA などが中心となって地震に強い家を作れるように支援しており、一定の耐震性を確認できると各家庭に助成金を給付しています。その給付対象が今年中までに完成した家となっており、村の至る所で家の再建をしている様子が見られました。



### ○資金源

今回のキャンプでは下記に示す様々な方々からご支援をいただきました。また、クラウドファンディングに際しては福岡県とアカツキの協定の支援事業に採択していただきました。

- ①西日本国際財団 国際化助成金 20万円
- ②九州地域 NGO 活動助成金 20万円
- ③クラウドファンディング 約40万円
- ④寄付金 14万 (文責 轟木亮太)



## キャンプ紹介③ フィリピンキャンプ

### ○概要

期間：2/27-3/27

場所：フィリピン共和国レイテ島タバンゴ市  
ヒマルコ村

ワーク内容：ウォーターシステムの改善

キャンパー：20名

### ○キャンプテーマ

『 with 』

村人とキャンパーとみんなと“一緒に”その思いから決めたキャンプテーマです。

### ○キャンプ地について

今年度のキャンプ地であるヒマルコ村は、昨年度のキャンプ地 BUTASON I 村と同じタバンゴ市に位置します。ハイウェイに面して家が立ち並び、縦に長く広い村です。村にはナショナルポリスが駐在しています。この村は、水源が遠く、水が何年も村まで行き届かない、という問題を抱えていました。

### ○ワークについて

今回は全長約 7~8 kmに及ぶワークを行いました。村の中心地から約 3 km離れた水源から村までパイプをつなぎ、村の中心部にはタンクを建設しました。また、近くの地区までタンクからパイプをつなぎ、水が行き届くようにしました。今回は、キャンプ期間が選挙期間に重なったこともあり、急遽市からのカウンターパートが出ないという

予算面での問題や、土地の所有者との交渉など様々なハプニングがありました。しかし、現地エンジニアのロクロクさんや村長を中心に私たち FIWC を支えてくださり、無事ワークを完成させることができました。

### ○総括

今回は現地の選挙期間や村の地形から、治安や安全面において最大限の注意が必要でした。行動範囲が制限されることも多々ありましたが、その中でも出会えた村人との関りを大切に、一人一人が村人と、自分と、活動と向き合うキャンプになったと思います。今回のキャンプを通して、市と FIWC の信頼関係は更に強固なものとなり、来年以降もこの市でプロジェクトを行う場合は、活動が円滑に進むことを期待しています。最後にフィリピンキャンプに関わってくださったすべての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(文責 太田璃子)



## キャンプ紹介④ 年末キャンプ

### 年末キャンプとは??

毎年の年末、奈良県にある“交流の家”に全国にいる FIWC のメンバーが集まって、互いに交流を深めつつ、ワークキャンプへの理解を深めるととても楽しいイベントです!!

#### ○交流の家 (むすびのいえ)

奈良県にある FIWC がかつて行った日本最大規模のワークキャンプで作った家で、なんと 2017 年で創立 50 周年! 交流の家のコンセプトは、ハンセン病患者をはじめ、様々なバックグラウンドを持つ人が宿泊できるように作られました。

#### ○ワーク

昨年行った、交流の家壁面ペンキ塗りの続きを行いました。また、例年通り、交流の家の大掃除や資料整理なども行いました。人数が多かったなので、どの作業もスピーディーに行われました♪

#### ○活動報告

今回の活動の一つが、決められたサイズのポスターにみな同じ形式で、各々の活動報告を記し、そのポスターを壁に掲示するというものでした。普段はなかなか知ることのできない全国の FI の活動を知ることができました。また、ポスターには一か所空いたスペースがあり、そこに付箋を貼って感想や質問を書くことができたため、色んな人の意見が見られて面白かったです☆

#### ○ディスカッション

ワークキャンプに関連する問いかけが 6 つ用意され、それを私達が 2 回ほどグループに分かれて考えるというのを繰り返し、発表するという工夫の凝ったディスカッションが行われました。さすが、FI に様々な人がいるので、色々な考え方に触れることができ、実のあるディスカッションとなりました。

#### ○講演会

2 日目の夜に、FIWC の海外キャンプ創始者であるタイランさん、ぬげさん、柳川さん、あきさん、ゆうたさん、まさこさん達が語り、時間長めの質疑応答も行われました! すごい方たちばかりで、かなり内容の濃い講演会となりました…。

3 日目の夜には、湯浅さん、西尾さんもお招きし、たくさん話が聞けてとても良い経験になりました! (文責 井上梨央)





## 国内イベント報告 12月 FIWC Party



### ○概要

12月15日にFIWC Party 通称『FP』を行いました！

今回のFPのテーマは「FIWCの原点、ワークキャンプについて語り尽くそう」ということで、日下 渉さんをゲストとしてお招きして講演会を行いました。

日下 渉さんはFIWC九州の創設者であり、現在は名古屋大学大学院国際開発研究所の准教授をされています。特に、政治学やフィリピン地域研究を専門とされており、ワークキャンプについても精通しているスゴイ方です！！ちなみにFIWCでは、日下 渉さんを親しみの意味を込めて『ぬけさん』と呼んでいます😊



↑日下 渉さん

### タイムスケジュール

17:00～ 開始  
17:10～ 講演スタート  
19:00～ 懇親会  
22:00～ 終了

今回のFPは、事前にFIWC九州のメンバーにぬけさんに聞いてみたい質問を募集しました。その結果、ワークキャンプについての質問や相談、FIWC、国際協力について質問が多く寄せられました。寄せられた質問については、講演会後に質疑応答の時間をもうけて質問に答えいただきました。

講演会では、そもそもワークキャンプとはいったい何なのか、ワークキャンプを行なうメリットや影響など、ワークキャンプについてたくさん語っていただきました。講演会の後の懇親会では、講演会を通して学んだことや自分の考えをみんなで熱く語りました。

### ○総括

今回のFPを通して、FIWCの原点であるワークキャンプについて改めて考え、語り尽くせたのではないのでしょうか😊 今後のFIWC九州のワークキャンプに乞うご期待！！

(文責 吉田知可)





## 役員 & キャンプリーダー他己紹介

### 委員長 ゆう

我らが委員長ゆうさん！中国・フィリピン・ネパールと全てのキャンプに精通したことからもう経験値が違いますね！普段のほんわかした雰囲気でも個性の強い役員を包み込んでくれる一方で、確かな考えから我らを引っ張るしっかりした面も兼ね備えています！そんな委員長ゆうさんが先導する新たな FI に期待です！（From 大ちゃん）



### 副委員長 りお

笑顔の可愛いりお。明るくて、一緒に話していると元気になる！

(´▽`)思っていることがそのまま口から出ちゃうくらい素直な女の子。仕事を一生懸命こなし、いろんなことに積極的に取り組んでいる頑張り屋さん。これからもっとたくさんおしゃべりしようね！（From ゆりこ）

### 国内係 まさみ

ちょうど1年前、入学したばかりのまさみはめっちゃ可愛くて、いい子感すごくて、なにかのポテンシャルが湧き出てましたね(笑)。口癖のようにカラオケ行こうって言うてるアカペラーの彼女はチャイナキャンプでもみんなを支えるしっかりもので、でもいつも目の前の人に対してまっすぐで真剣に向き合う姿は尊敬してます(´▽`)今年もよろしくね！（From ゆう）



### 国内係 ゆうや

国内係のゆうや！全キャンプを制覇すると言うほど、FIへの気持ちが強く意欲に満ち溢れています。いつも周囲に気を配るので、自分が気づいたときには、既にゆうやがやっていることがほとんどです。その上ズバツと鋭い意見を放つ、見た目も中身もクールなみんなの憧れ！きっと後輩に人気なことでしょう！！（From しゅんすけ）

## 国内係 げんし

突如 FI に現れたサラブレッドこと、玄志さん。  
現時点で私が知っている玄志さん情報は、シンガポール料理の店でアルバイトをしているということぐらい、、、  
みんなが言うには、どうやら優しい性格とハードワーカーという面を兼ね備えているらしい。これから1年間、国内係として FI を盛り上げてくれること間違いなし！  
今後の玄志さんに大注目です！！ (From ちか)



## 国内係 ゆりこ

100点満点の女子力を兼ね備えてみんなに微笑みかけるのが特技。フットワークも軽く様々なイベントや飲み会に行き、あっという間にその場に溶け込むというスペックを持つ。国内係として FI を盛り上げてくれること、間違いなしでしょう！ (From ろっきー)

## 広報 ちか

ちかさんは、入ってまもなく私のむちゃぶりのモノマネも、しっかりやってくれたり、同じ社会福祉学科として色々話をしてくれる頼もしくとても優しい先輩です！！優しいだけでなく美も兼ね備えています。チャイナとフィリピンキャンプに参加したことがある経験豊富な先輩で沢山の話がきけます！  
(From ひなた)



## 広報&フィリピンキャンプリーダー りこ

弾ける笑顔でみんなを笑顔にしてくれるりこ！  
去年は国内係として、今年は広報係として FI を支えてくれます！頼もしい！たまに(?)おっちょこちょいなところもあるようですが...笑  
そして、フィリピンをこよなく愛する女の子でもあります:)今年一年間、一緒に FI を熱く盛り上げていきましょう～！ (From まさみ)



## 広報 大ちゃん

意外とサバサバで、関西弁の兵庫県民だいちゃん。キャンプでは熱く語る場面が度々あり、キャンプに対してよく考える子です。フィリピンではウヤブ(彼女)を作らないと言っていたが最後にこっそりウヤブを作った模様…悪い男の予感がしますが、キャンプ愛を FI 愛に変えて広報を引っ張っていくイイ男になることに期待です☆  
(From りお)

## 広報 あいり

FI の中でも海外への好奇心が人一倍強いタフガール。春休みにはマレーシアから帰国した翌日にネパールに出国するというグローバルエリート顔負けの母国不滞在期間記録を持つ。一見おっとりしているが芯の強さが垣間見える。今年度は広報として FI を盛り上げ、頼れるお姉さんの存在となってくれるに違いない。

(From げんし)



## 耶馬溪係 はるか

実は彼女とは高校の頃から存在を知っている。なぜなら彼女は私の塾の先生で面識があり何度か授業も担当してもらったことがあるからだ。

三島先生はフィリピンのことが大好きでフィリピンの話を何度も聞いたことがある。

そして三島先生は包み隠さず発言していてとてもカッコいい人なのである。

だから私は三島先生みたいな発言力を今後身に付けていきたいと思う!! (From ゆうや)

## 耶馬溪係 しゅんすけ

第一印象金髪やんちゃ boy。でも頭の中はフル回転。誰よりも考えて悩んで、キャンプについて熱く語る姿はまるで別人、格好いいの一言に尽きる。ネパール経験者の彼からどんな話が聞けるだろうか、楽しみである。そんな彼は今年度耶馬溪係。きっと彼の行動力が発揮されるであろう。乞うご期待! (From りこ)







## 会計 ひなた

あふれる透明感と、柔らかい雰囲気。一見きれいなお姉さんという感じですが、少年のような無邪気さも兼ね備えています。 ひなたのそのひたむきさでこの一年間 FI の会計をよろしくお願いします( ^ ▽ ^ ) (From ゆうき)

## チャイナキャンプリーダー ゆうき

このちゅるちゅるまっ白お肌のベイベーエンジェルフェイスで間違いなく FI のかわいい偏差値をあげているのはゆうきちゃんです!!彼女はかわいい顔して実は春のチャイナキャンプのリーダーで、その眼差しと心でしっかりと村人やキャンパーと向き合ってきたのでしょ。そんなかわいいゆうきちゃんがこれからどう FI にコミットしてくれるのか期待ですっ

(From はるか)



## ネパールキャンプリーダー ろっきー



日本人にもネパール人に間違えられるネパキャンのリーダー。最初はひたすらすごい人だと思ってたけど、出国日にパスポートを忘れるなど、意外と抜けてるところもあるロッキーさん。最後の最後まで大変だったネパキャンのことを、誰よりも考えて支えてくれた人です。ロッキーさんがリーダーでよかったです!!

(From あいり)

2018年度も FIWC 九州役員をよろしくお願いします。



# 「えふあい通信 ～2018 春～」

発行日:2018 年4月 18 日

発行者:FIWC九州 広報

連絡先:FIWC 九州 連絡先一覧

	<Facecok> FIWC Kyushu		<HP> <a href="http://fiwckyushu.jimdo.com">http://fiwckyushu.jimdo.com</a>
	<Mail> <a href="mailto:fiwcq@hotmail.com">fiwcq@hotmail.com</a>		<Twitter> <a href="https://twitter.com/fiwckyushu">@fiwckyushu</a>